③10キーボタン
採点集計装置

取 扱 説 明 書

２０１６年2月８日

クイズ番組のようにスマートに格好良く採点、集計表示します。

高輝度弾丸型ＬＥＤ採用　子機は最大５台まで接続できます。

〔①得点表示装置〕と〔②アップダウン採点集計装置〕は
本取扱説明書とは異なりますのでご注意ください。

SIKOKU DENSHOKU KOGEI
四国電飾工芸

〒780-0991 高知県高知市宗安寺 591-1
電話:(088)843-1601　携帯:090-3041-6033
WebSite:http://www.globe.to/shop/　E-Mail:shop@globe.to

ー　目　次　ー

Page	内　容
Page　1	表紙
Page　2	目次
Page　3	ご利用のお客様へ　（必ずお読みください）
Page　4	１．はじめに　安全にご利用頂くための重要事項　使用上のご注意
Page　5	２．大切な電源について
Page　6	３．機能の紹介、４.一般的な配置
Page　7	５.【全体】配線図
Page　8	６.【全体】基本セット
Page　9	７.【準備】操作卓ケースの組立
Page　10	８.【準備】キャノンコネクタの接続方法
Page　11	９.【準備】１０キーボタンの接続と操作方法
Page　12	１０.【操作卓】パネルの説明①
Page　13	１１.【操作卓】パネルの説明②
Page　14	１２.【操作卓】液晶表示の説明
Page　15	１３.【子機】パネルの説明
Page　16	１４.【子機】設置資料
Page　17	１５.【利用方法例１】１０キーボタン採点
Page　18	１６.【利用方法例２】１０キーボタン採点
Page　19	１７.【操作卓】一括操作モードのボタンと動作
Page　20	１８.【操作卓】個別スイッチと動作
Page　21	１９.【子機単体】任意値表示モード
Page　22	２０.【子機単体】１０キーボタン任意値表示
Page　23	２１.【全体】動作の確認方法　２２.各機材の寸法と重量
Page　24	２３．あと片付けのお願い
Page　25	２４．機材チェックシート（見本）
Page　26	２５．よくある質問と答え①
Page　27	２６．よくある質問と答え②
Page　28	２７．よくある質問と答え③
Page　29	２８．　*（オプション）合計得点を表示させる　表示機表面*
Page　30	２９．　*（オプション）合計得点を表示させる　表示機裏面*
Page　31	３０．　*（オプション）７セグ表示機の動作確認*
Page　32	３１．　*（オプション）７セグ表示機の設置方法①*
Page　33	３２．　*（オプション）７セグ表示機の設置方法②*
Page　34	３３．　*（オプション）７セグ表示機　スタンド設置の注意点*
Page　35	３４.【全アイテム】　　四国電飾工芸　連絡先電話番号

ご利用のお客様へ（必ずお読みください）

弊社の機材レンタルサービスは、この取扱説明書の**注意・約束**を守ってご利用頂ける方を対象にしております。機材の性能をフルに活用するには知識が必要となります。この取扱説明書には初めての方にも、簡単にご利用頂けるよう分かりやすく画像を多用し作成しております。最後まで必ず目をお通しください。

先ず機材を受け取られましたら、**同梱の「機材チェックシート」**を用いて、機材の**数量、状態を確認**してからご利用ください。また、**利用後も同様に確認**したのちにご**発送**ください。**不具合や破損などを確認した場合は、その旨をお知らせください。**



機械ですから乱暴な扱いや指示にない使い方をすると壊れる場合もあります。万が一トラブルでご連絡を頂いても取扱説明書を読んでいない方へのサポートには限界があります。

また、電話を掛ければ、いつでも十分なサポートを保障するといった体制は取っておりません。事前に余裕を持ってテストを行い機械の扱いに慣れてください。いいイベントが出来ることをスタッフ一同願っております。

四国電飾工芸

注 意 事 項

- ✧ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- ✧ 本製品は機能追加、品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。継続的にご利用いただく場合でも、必ず取扱説明書をお読みください。
- ✧ 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記入漏れなどお気付きの点がございましたら、弊社までご一報ください。
- ✧ 弊社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、本書の不審点や誤り、記載漏れに関わらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ✧ 本製品の故障などにより、人身事故、火災事故、社会的な損失などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

1. はじめに

■スマートにご利用いただくために！

配線に足を引っ掛けて転ぶことが無いように人の動きを予期して配線ルートを工夫してください。配線の固定は粘着力の弱いテープ（養生テープ）などを使ってください。紙テープ（クラフトテープ）や夏場のガムテープのご利用は器材を痛める為使用はお控えください。

テレビ番組のようにスムーズな進行を行うためには、機器の機能を十分に理解して、司会者を含めリハーサルを行ってください。スタッフ全員が本番のイメージを共有することが大切です。特に参加者は思いもかけない行動をとるのでスタッフは事前の説明だけでなく本番中も注意を払ってください。

■ 使用上のご注意

- この取扱説明書に従い正しく”やさしく”操作してください。
- 取扱説明書を読まずに電話で安易に問い合わせをするのはやめてください。
- 機能を理解しないで操作すると想定外の事態に”不愉快”になることもあります。
- 落とせば壊れます。乱暴に扱うと機械も”不機嫌”になります。
- 取扱説明書の指示にない接続をすると壊れることもあります。
- 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動中や輸送時には大きな衝撃が加わらないよう丁寧に扱ってください。
- 本機の設置場所は直射日光の当たる場所や高温になりやすい場所をさけ、なるべく日影で通気性の良い場所でご使用ください。 レジャー用の熱反射シート等を用意して対策を施してください。
- 電圧や周波数の安定しない発電機でのご利用はお止めください。
- 電源の詳細については「■大切な電源について」を参考にしてください
- 異常な音や異臭が生じた際は、利用を中止し電源コードをコンセントから抜いてご連絡ください。
- 長時間利用しない時は、電源を切り電源コードもコンセントから抜いてください。
- 故障や感電事故を防止するとともに、性能を維持するためにも絶対にケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理・改良が必要なときには事前に許可を得てください。

2.大切な電源について

- 電源には家庭等で使われる「一般電源」、会館などで照明の電源として用いる「調光電源」、ほかにもお祭りなど仮設会場で使われる「発電機による電源」などいくつかの種類があります。「一般電源」以外でも調節により 100V 50Hz/60Hz を供給することができます。ただし、タコ足配線や長いコードで接続すると本来の電圧が得られなくなり機器が正常に動作しない場合があります。

- 電線には抵抗があるので負荷（機器）を接続して電流を流すと電圧を降下させます。実際の電圧は負荷を接続した状態で測る必要があります。テスターで 100V（無負荷電圧）あっても電球を点灯させたりすると電圧は降下します。それを防ぐには流す電流は少なくして短く太く接続箇所を少なく接続する必要があります。

- 電気ドラム等を利用して長い距離を引きまわす場合は、電気容量の大きなコード（７Ａ→１２Ａ→１５Ａ）を利用することで電圧降下を少なくすることができます。

- お祭り会場などで電気ドラム 30ｍを３本つないで 90ｍで機器を接続した場合に動作しない。これも弊社の機材専用の電源であれば負荷（電気使用量）が小さいので殆ど問題はありません。しかし電球などと一緒に使用すると元のコンセントでは 100V あっても 90ｍ離れた場所では 80V 以下となることがあります。







- 特に古い発電機の中には電圧変動が大きなものやノイズが加わり正常の動作しないこともあります。

- 会館の壁コンセントは「一般電源」ですが照明を明暗させるための調光電源では 100％送っても波形が乱れた電源しか供給できないものもあります。壁から直接の電源でない限り念のために会館職員に「パソコンなどを使っても大丈夫か？」と確認を取って利用することをお勧めします。

- 電子機器は適正な電気が供給されなければ正常に動作しません。電気があってこそ本来の機能を発揮できるので細心の注意が求められます。

3.機能の紹介



●テレビ番組のようにスマートに採点。集計結果を表示させます。

１０キーボタンを用いて採点

操作卓からの遠隔操作で各子機を自由に点滅・表示・消灯できます。

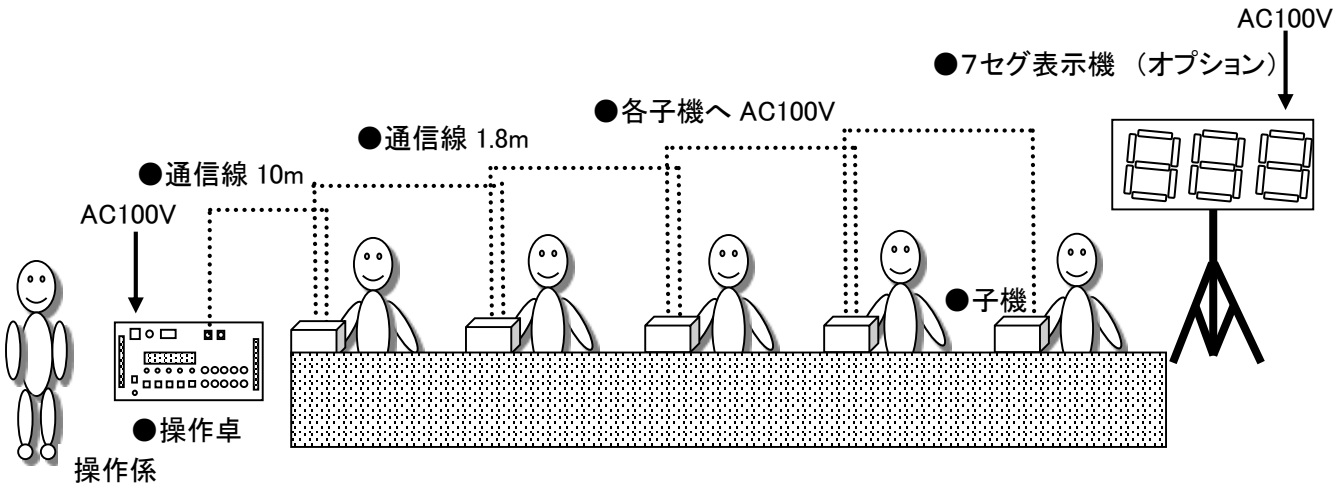
●操作卓１台で最大５台までの子機を接続することができます。

〔操作卓〕→〔１号機〕→〔２号機〕→〔３号機〕→〔４号機〕→〔５号機〕

●子機単体で[００]～[９９]の範囲で数値を表示させることもできます。

●高輝度弾丸型ＬＥＤ採用で屋外イベントにも対応　（非防滴仕様）

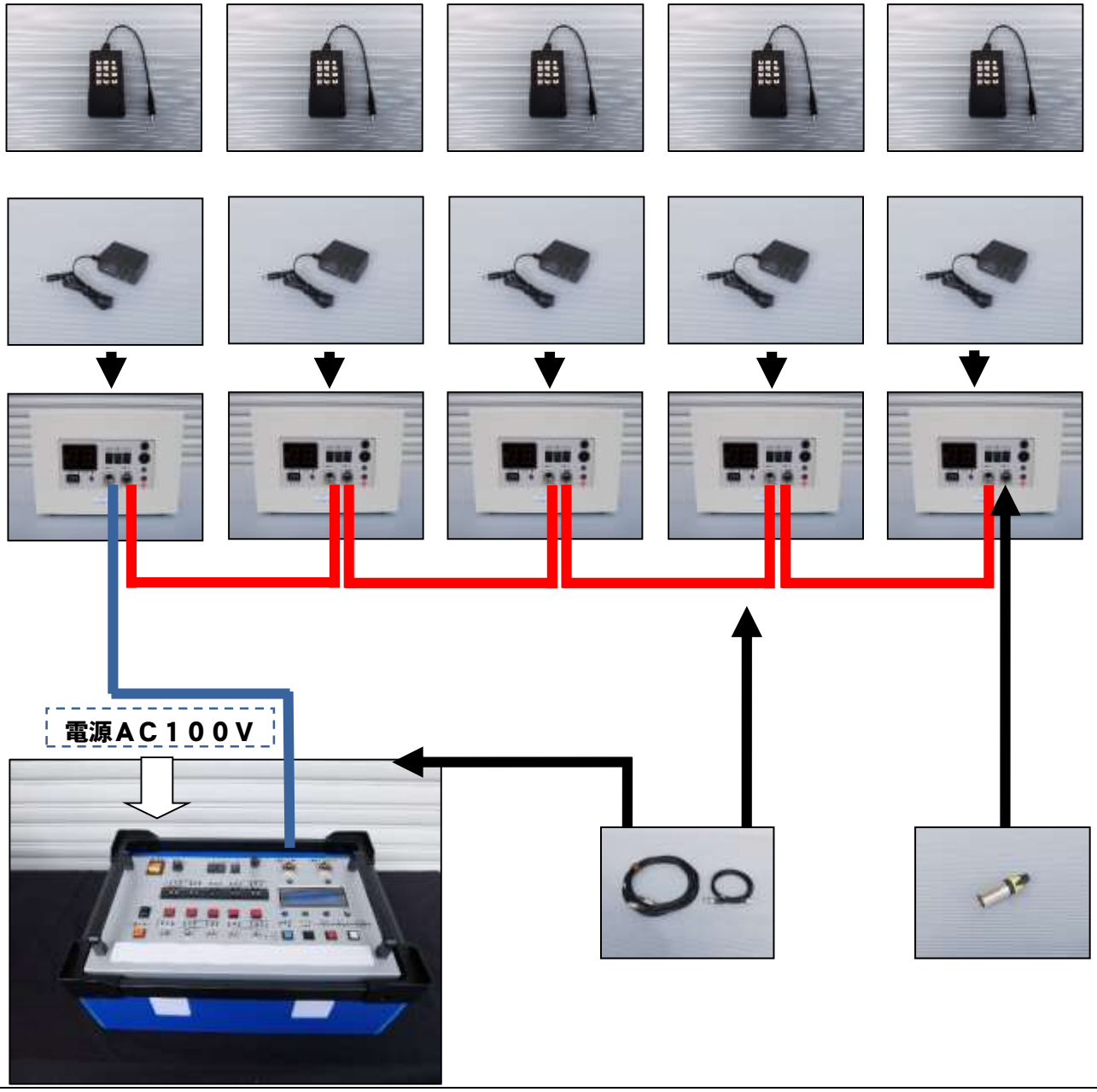
4.一般的な配置



5. 配線図

▼全ての接続を終えてから電源を投入してください。
▼片付けや配線変更の際は電源を切ってから行ってください。

①：操作卓、子機の設置場所を決める。
②：操作卓と子機へ電源 AC100V を準備する。操作卓は専用ケースに入れたままご利用ください。
③：操作卓⇔子機①へは通信コード 10m（最長２本＝20m）で接続
④：子機① ⇔ 子機② ⇔ 子機③ ⇔ 子機④ ⇔ 子機⑤間は通信コード 1.8m（４本）で接続
⑤：操作卓から一番離れた位置にある子機へターミネーターを接続
⑥：子機へアップダウンボタン、または、１０キーボタンを接続
※コードにはオスメスの区別があるので操作卓側へオスを接続

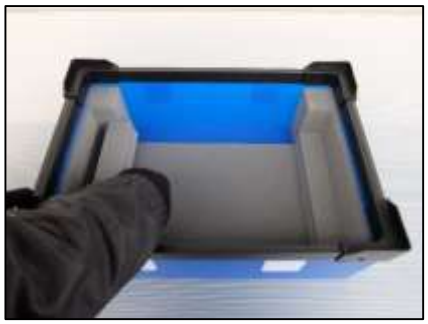


6．基本セット

品　名	画　像	数　量
●操作卓		１台
●子機		５台
●１０キーボタン		５台
●ＡＣアタブタ		５台
●通信コード　10m		２本
●通信コード　1.8m		４本
●ターミネーター		１個
●マニュアルほか		一式
●運搬ケース		１台

7．【準備】操作卓ケースの組立

▼ケースから操作卓を取り出さずにご利用頂いても結構です。
▼ケース内部に敷くクッションはケースと操作卓の面を合わせるための部材です。

<table>
<tr>
<td>
①＜カバーが閉じた状態＞</td>
<td>
②＜開ける（マジックテープ）＞</td>
</tr>
<tr>
<td>
③＜カバーを取る＞</td>
<td>
④＜操作卓を取り出す＞</td>
</tr>
<tr>
<td>
⑤＜クッション２枚＞</td>
<td>
⑥＜右側に敷く＞</td>
</tr>
<tr>
<td>
⑦＜左側に敷く＞</td>
<td>
⑧＜操作卓を収める＞</td>
</tr>
</table>

8．【準備】キャノンコネクタの接続方法



＜操作卓　通信ケーブルの接続＞
カチっと音がするまで差し込む



＜操作卓　通信ケーブルを外す＞
金具ピンを押しながらプラグを抜く



＜子機　通信ケーブルの接続＞



＜子機　通信ケーブルを外す＞
子機側のツメを押し込み抜いてください



＜子機⇔子機間　通信ケーブルの接続＞



＜子機　ターミネーターを接続＞



＜通信 3Pin ケーブル＞　＜電源（ＡＣアタブタ）＞

９．【準備】１０キーボタンの接続と操作方法







▼モード⑥⑦　操作卓操作

１０キーボタン受付中は、７セグモニターの数値が点滅と同時に右側のドットが点灯
１０キーボタン受付禁止は、７セグモニターの数値が点灯と同時に右側ドットが消灯
数値点滅状態で数値ボタン〔0,1,2,3,4,5,6,7,8,9〕を押して〔#〕で決定（数値点灯）
〔#〕決定後の修正は〔*〕ボタンを押す（受付中は数値点滅）

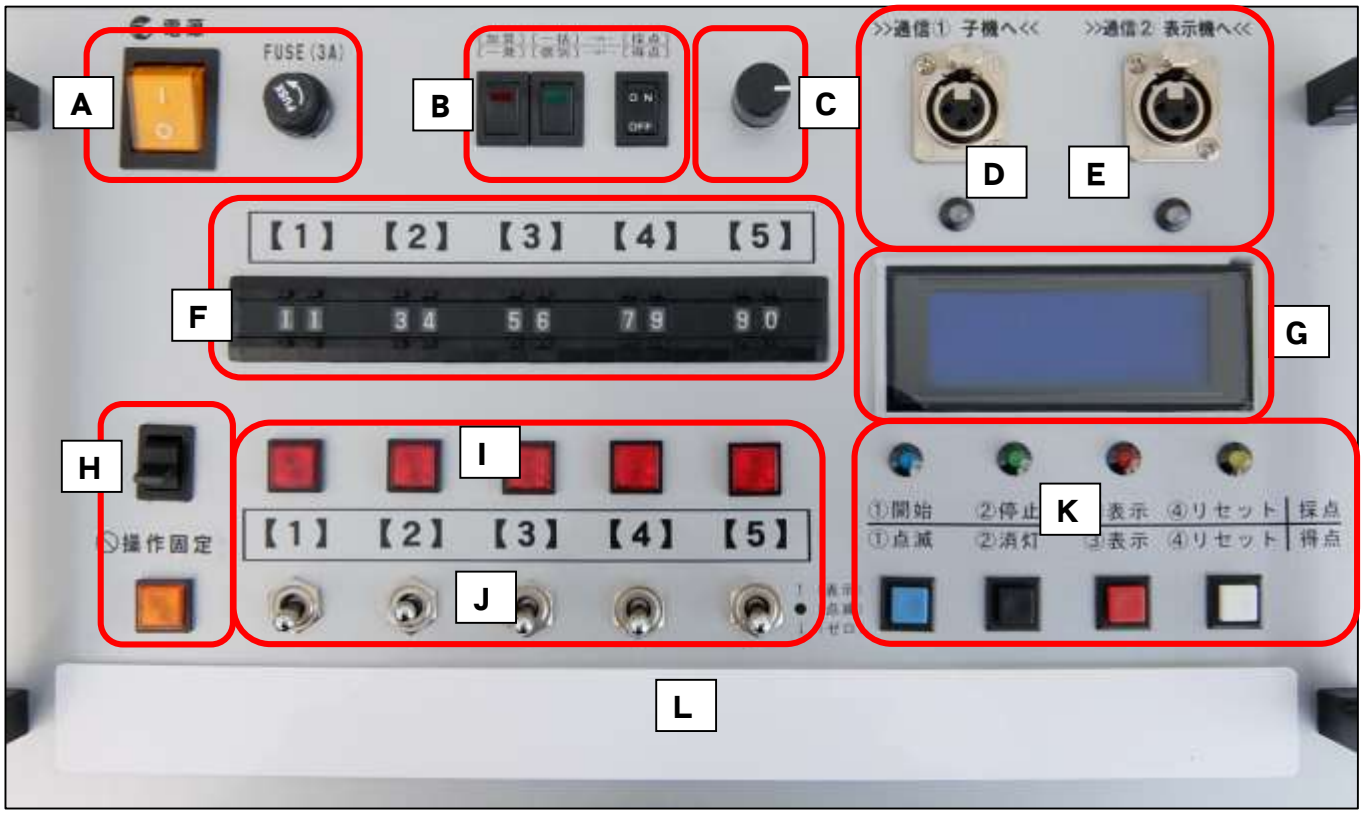
▼モード⑧　単体

単体で使用する場合は、操作が異なります。
下記「【子機単体】１０キーボタン任意値表示」の項目をご覧下さい。

▼１０キーボタンの基本入力

〔1〕〔#〕 → 1
〔1〕〔2〕〔#〕 → 2
〔1〕〔*〕 → 0 点滅
〔1〕〔2〕〔*〕 → 0 点滅
決定ボタンを押さないときには数値はゼロとして処理されます。
但し、子機設定〔Ｂ〕：ＯＮ時には、７セグモニターにゼロは表示されず消灯とります。

１０．【操作卓】パネルの説明①



【Ａ】－［電源スイッチとヒューズ］AC100V コンセントへ接続　FUSE は 3A

【Ｂ】－［設定スイッチ］加算表示／一括表示／採点モード

【Ｃ】－［コントラスト調整］液晶画面のコントラスト調整

【Ｄ】－［通信①］子機との通信

【Ｅ】－［通信②］オプション品の７セグ表示機との通信

【Ｆ】－［数値設定］ブッシュ型サムロータリースイッチ

【Ｇ】－［液晶表示画面］各子機の得点や合計得点を表示

【Ｈ】－［操作固定スイッチ］不用意な操作を防ぐスイッチ

【Ｉ】－［動作モニター］動作の確認

【Ｊ】－［個別操作スイッチ］【１】～【５】を個別に操作

【Ｋ】－［一括操作スイッチ］【１】～【５】を一括に操作

【Ｌ】－［ラベルスペース］テープなどを貼ってメモ書きに利用

１１．【操作卓】パネルの説明②



【電源スイッチ】

起動には電源を入れて０．５秒掛かります。

【FUSE】

3A



【設定スイッチ】〔A〕〔B〕－〔C〕

●〔A〕加算表示（赤点灯）／一発表示（赤消灯）
　・ＯＮ：加算表示　ゼロから設定値へ加算表示
　・ＯＦＦ：一発表示　発表と同時に設定値を一発表示
●〔B〕一括操作（緑点灯）／個別操作（緑消灯）
　・ＯＮ：全ての子機を一括操作
　・ＯＦＦ：各子機を個別に操作
●〔C〕採点/得点　ＯＮ：採点表示機
　　ＯＦＦ：得点表示機



【通信コネクタ】

通信①：子機へ接続
通信②：７セグ合計表示機へ接続（オプション対応）

【通信モニターＬＥＤ】

赤色点滅でデータ送信　緑色点滅でデータ受信

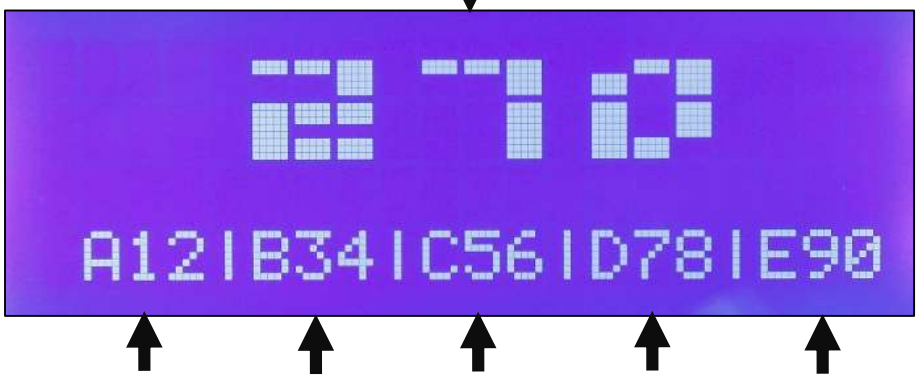


【操作固定機能】

・ＯＮ：現在の状況を固定。
　操作係のご操作を防ぎます。
　固定中は橙色ＬＥＤが点滅します。

１２．【操作卓】液晶表示の説明

（合計得点）



（個別得点）

※便宜上、子機アドレス：Ａは１番、Ｂは２番、Ｃは３番・・・として表示しています。

【①：点滅】

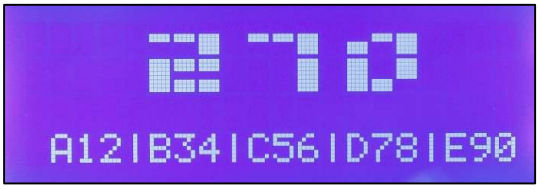


【②：消灯】



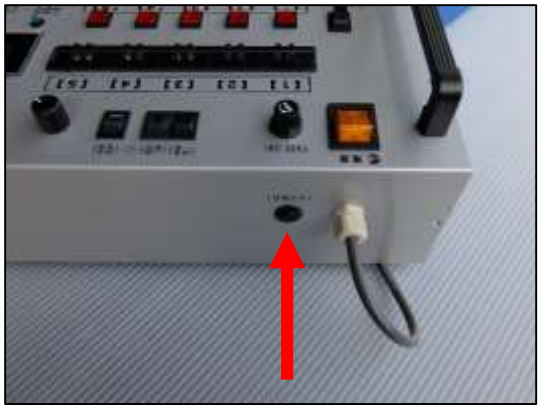
実際は個々のカウント値をＡ～Ｅに表示

【③：表示】



【④：リセット】

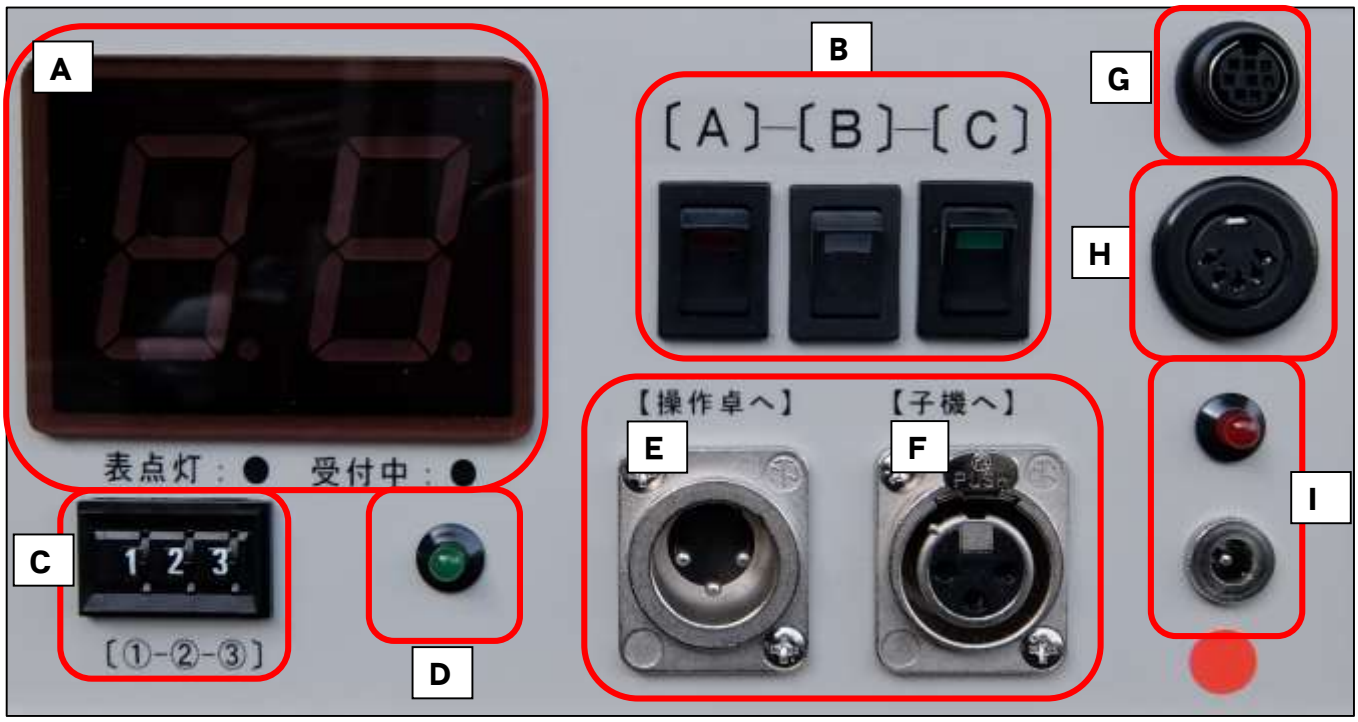




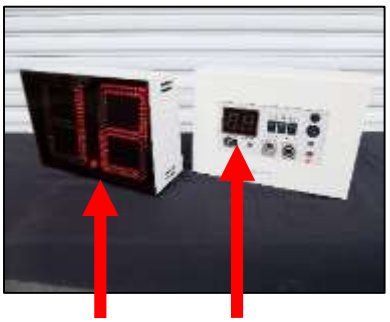
【マイコン再起動ボタン】

※液晶画面が流れる現象など正しく表示されない場合はリセットボタンを２秒ほど押してマイコンを再起動してください。

１３．【子機】パネルの説明



【Ａ】－［７セグモニター］
　　カウント値を表示
　　（左側のトッド）：表面ＬＥＤ点灯時に点灯する
　　（右側のドット）：１０キーボタン受付中


（表面ＬＥＤ）（７セグモニター）

【Ｂ】－［機能設定スイッチ〔Ａ〕－〔Ｂ〕－〔Ｃ〕］
　　〔Ａ〕：任意値表示モード（優先機能）
　　〔Ｂ〕：リセット時のゼロを消す
　　〔Ｃ〕：得点表示モードでは対応なし

【Ｃ】－［機能設定スイッチ〔①〕－〔②〕－〔③〕］
　　〔①〕：モード　→
　　〔②〕：リミット　→
　　〔③〕：アドレス　→　１号機＝１、２号機＝２、・・・５号機＝５を選択

【Ｄ】－［通信モニター］　操作卓と通信中は点滅
【Ｅ】－［通信コネクタ］　【Ｆ】－［通信コネクタ］
【Ｇ】－［キーボタン接続コネクタ］
【Ｈ】－［アップダウンボタン接続コネクタ］
【Ｉ】－［電源ＬＥＤ・電源コネクタ］ＤＣ１２Ｖ

１４．【子機】設定資料

設定〔Ａ〕：任意値表示（単体利用・最優先モード）

設定〔Ｂ〕：ゼロ表示ＯＦＦ

設定〔Ｃ〕：上位ゼロ表示ＯＮ（任意値表示モード時）



設定〔①〕　モード

１：得点表示（操作卓）ＬＥＤ連動
２：アップダウンボタン採点（操作卓）ＬＥＤ連動
３：アップダウンボタン採点（操作卓）ＬＥＤ非連動（操作卓制御）
４：アップダウンボタン採点（単体）ＬＥＤ連動
５：なし
６：１０キーボタン採点（操作卓）ＬＥＤ連動
７：１０キーボタン採点（操作卓）ＬＥＤ非連動（操作卓制御）
８：１０キーボタン採点（単体）ＬＥＤ連動
９：なし
０：なし



▼ＬＥＤ連動とは、子機の裏表二面の７セグＬＥＤの動きが同じになる。
▼ＬＥＤ非連動とは、操作卓からの信号で表面の７セグＬＥＤのつけ消しができる。

設定〔②〕　リミット値

１：１
２：２
３：３
４：４
５：５
６：１０
７：２０
８：２５
９：５０
０：９９

設定〔③〕　アドレス

１：１
２：２
３：３
４：４
５：５
６～０は未対応
[１]から[５]のいずれかに設定します。
上画像のアドレスは[３]となります。
アドレスは操作卓【１】から【５】に対応します。
※数字のツメを上下に動かす（回転式）

１５．【利用方法例１】１０キーボタン採点

【操作卓設定】	【子機設定】
〔Ａ〕加算／一発：一発 〔Ｂ〕一括／個別：一括 〔Ｃ〕採点／得点：得点 個別スイッチ１から５を全て（表示）側へ	〔①〕モード： 〔②〕リミット値：９ 〔③〕アドレス：１から５（重複不可） 〔Ａ〕任意値表示モード：ＯＦＦ 〔Ｂ〕リセットゼロ：ＯＦＦ 〔Ｃ〕ＯＦＦ

●操作例：１

１、①開始ボタンＯＮ　→　子機モニター数値点滅　→　１０キーボタン受付開始
２、１０キーボタンを押して数値を変える
３、②停止ボタンＯＮ　→　子機モニター数値点灯　→　１０キーボタン受付終了
４、③表示ボタンＯＮ　→　子機表面ＬＥＤ点灯
５、④リセットボタンＯＮ　→　子機モニターゼロ点灯
※②停止ボタンで１０キーボタンの受付を終了するため、③表示中に数値を変更できない。

●操作例：２

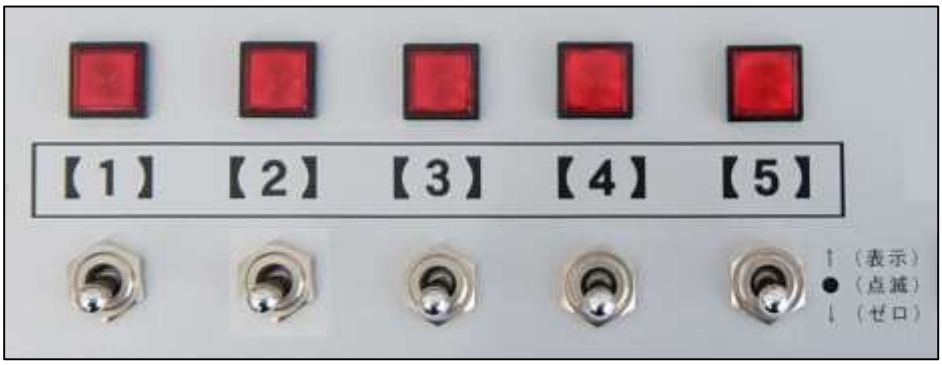
１、①開始ボタンＯＮ　→　子機モニター数値点滅　→　１０キーボタン受付開始
２、１０キーボタンを押して数値を変える
３、③表示ボタンＯＮ　→　子機表面ＬＥＤ点灯
４、②停止ボタンＯＮ　→　子機モニター数値点灯　→　アップダウン１０キー
※②停止ボタンの前に③表示ボタンを押すため、表示中に１０キーボタンを受け付ける。

●操作例：３

１、③表示ボタンＯＮ　→　子機表面ＬＥＤ点灯
２、１０キーボタンを押して数値を変える
３、１０キーボタンの受付を終了する場合は②停止ボタンＯＮ
４、④リセットボタンＯＮ　→　子機モニターゼロ点灯
※アップダウン値の変化をそのまま見せる事ができる。

１６．【利用方法例２】１０キーボタン採点

【操作卓設定】	【子機設定】
加算／一発：一発 一括／個別：一括 採点／得点：得点	〔①〕モード：３ 〔②〕リミット値：９ 〔③〕アドレス：１から５（重複不可） 〔Ａ〕任意値表示モード：ＯＦＦ 〔Ｂ〕リセットゼロ：ＯＦＦ 〔Ｃ〕ＯＦＦ



個別スイッチの操作で各子機を自由に表示／非表示する。※ＬＥＤ非連動モード時

●操作例：１

１、①開始ボタンＯＮ　→　子機モニター数値点滅　→　１０キーボタン受付開始
２、１０キーボタンを押して数値を変える
３、②停止ボタンＯＮ　→　子機モニター数値点灯　→　１０キーボタン受付終了
４、③表示ボタンＯＮ　→
５、個別スイッチで選択する子機を自由にＯＮ／ＯＦＦ
６、④リセットボタンＯＮ　→　子機モニターゼロ点灯
※②停止ボタンで１０キーボタンの受付を終了するため、③表示中に数値を変更できない。

１７．【操作卓】一括操作モードのボタンと動作



【一括操作モード】操作卓設定〔Ｂ〕ＯＮ（緑ＬＥＤ：点灯）

操　作	動　作	モニター
【①開始】	全子機の数値がランダムに点滅 カウント受付中	点滅　青点灯
【②停止】	全子機の数値が消灯 カウント終了	消灯　緑点灯
【③表示】	全子機の表示	点灯　赤点灯
【④リセット】	全子機の数値がゼロ※	消灯　黄点灯



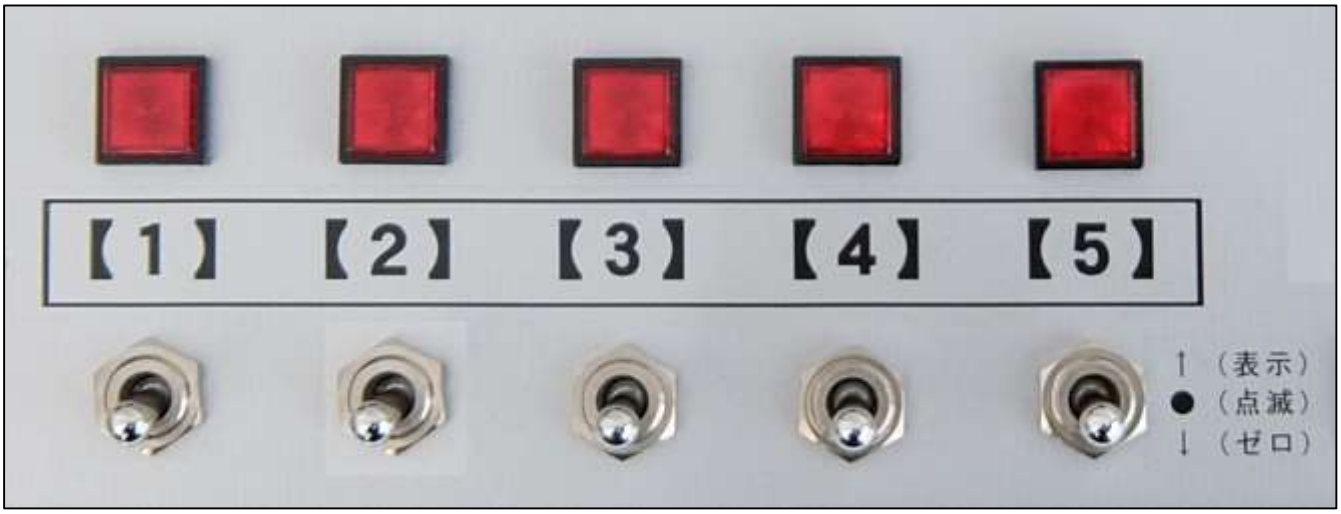
１０キーボタン受付中は、③表示ＬＥＤが点滅します。
④リセット→①開始→③表示へ操作
④リセット→③表示へ操作

④リセットから②停止へは操作不可　④リセットへ戻る
④リセットから③表示、そして②停止は、②停止ボタンを放すと自動的に③表示へ

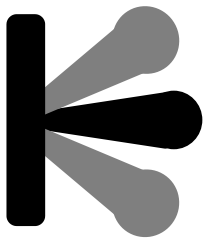
各子機からの数値は個別スイッチＯＮで集計、ＯＦＦではゼロとして集計
個別スイッチは表示した後でも操作可能

ゼロ※：子機の設定〔Ｂ〕ＯＦＦ＝ゼロ表示　ＯＮ　＝ゼロ消灯

１８．【操作卓】個別スイッチと動作



操　作	動　作	モニター
【表示】	合計得点へ加算される※１	点灯
【点滅】	なし	点滅
【ゼロ】	数値ゼロ※２	消灯



合計値への加算や子機ＬＥＤ表示のＯＮ／ＯＦＦを個別に制御します。通常はＯＮで使用します。

１９．【子機単体】任意値表示モード



電源を接続してください。
設定〔A〕を［ON］
設定〔B〕は下位桁ゼロ表示選択、設定〔C〕は上位桁ゼロ表示選択
設定〔①〕－［十の位］、設定〔②〕－［一の位］、設定〔③〕－ 対応なし

２０.【子機単体】１０キーボタン任意値表示



電源と１０キーボタンを接続してください。
設定〔Ｂ〕は下位桁ゼロ表示選択、設定〔Ｃ〕は上位桁ゼロ表示選択
設定〔①〕－［４］、設定〔②〕－［リミット値］、設定〔③〕－ 対応なし

▼モード⑧　単体

１０キーボタン〔0,1,2,3,4,5,6,7,8,9〕を押すことで受付開始（数値点滅）（右側ドット点灯）
〔#〕で決定（数値点灯）（左右のドット点灯）
決定後の修正は〔*〕ボタンを押す（受付中は数値点滅）
表面７セグＬＥＤを消したい場合は決定後にもう一度〔#〕決定ボタンを押す（左右ドット消灯）

▼１０キーボタンの基本入力

〔1〕〔#〕 → 1
〔1〕〔2〕〔#〕 → 2
〔1〕〔*〕 → 0 点滅
〔1〕〔2〕〔*〕 → 0 点滅
決定ボタンを押さないときには数値はゼロとして処理されます。
但し、子機設定〔Ｂ〕：ＯＮ時には、７セグモニターにゼロは表示されず消灯とります。

２１．【全体】動作の確認方法

１、全ての接続を終えましたら、操作卓と子機の電源を投入してください。

子機：電源投入から３秒間ＬＥＤ表示部にアドレス番号を表示。

通信モニター点滅

２、操作卓の設定は、加算モードと一括モードをＯＮ、採点モードはＯＮへ。

３、④リセットして各子機がゼロ、または消灯していることを確認してください。

４、操作①②③④と各アクションを確認してください。

正常に動作しない場合は、電源をＯＦＦにして配線や設定を再確認してください。

２２.各機材の寸法と重量



■操作卓
縦：　230mm
横：　400mm
高さ：105mm
重量：kg



■子機
縦：　215mm
横：　295mm
高さ：110mm
重量：kg

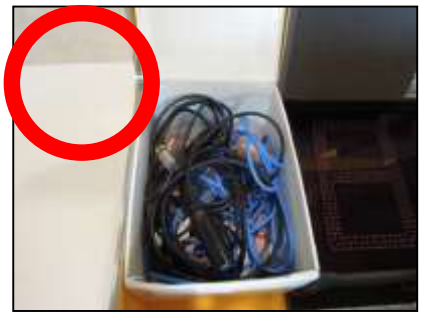
※寸法や重量は多少の誤差がありますことをご了承ください

２３. あと片づけのお願い

コードは巻かずにそのまま入れてください。

- 機材チェックシートで数量を確認して受取時のように梱包してください。
- ご意見、ご希望、ご感想などありましたらシートへ
- 商品に不具合等があった場合はメモ書きなど入れて頂けると幸いです。

「コードを痛めないために」



↓この巻き方は絶対にしないで！



２４.機材チェックシート（見本）

－１０キーボタン採点装置機材チェックシート－

- この度は、１０キーボタン採点装置のご利用ありがとうございます。
- 最初に機材数を確認して取扱説明書に従いお取扱ください。
- 利用後のケーブルは巻かずに返却してください。

レンタル先:	お届け予定日　　:　　年　　月　　日 ご 利 用 日　　:　　年　　月　　日 返却発送日(厳守):　年　　月　　日

品　名		基本数(追加数)	発送確認	受取確認	発送確認
操作卓		1台(　　)			
子機		5台(　　)			
10キーボタン		5台(　　)			
電源アタブタ		5台(　　)			
通信コード黒　10m		2本(　　)			
通信コード黒　1.8m		4本(　　)			
ターミネーター		1個(　　)			
マニュアル一部(要返却)		一冊(　　)			
運送伝票		1枚(　　)			

動作確認				
見た目の異常				
（具体的に記入）				

アンケート　　とても満足・満足・普通・不満・とても不満　（○で囲む）

- **ご意見、ご希望、ご感想などありましたらご記入ください。**

２５.よくある質問と答え①

●【準備】レンタル品以外に必要なものは何でしょうか

操作卓と子機へそれぞれ電源（100Ｖ）、電気ドラムや延長コードをご用意ください。

●【準備】スムーズに進行させるために気を付けることは

事前にテーブルやイスなどを準備してください。操作卓や子機などの位置を決めビニルテープなどでマークして設営の時間を短縮してください。

●【子機】リミット設定とは何ですか？

カウントの上限となります。表示器は２桁ですので最大は[９９]までカウントできますが、持ち点設定で[２０]を設定すると、１０キーボタンのカウント上限は[２０]となります。５人利用時は合計１００が上限となります。４人では[２５]を上限にするとよいでしょう。設定は子機設定[②]で行ないます。

●【ボタン】いつカウントされるのですか？

操作卓で一括操作：①開始、または③表示のときにカウントを集計します。ただし、②消灯を押すと、それ以降のカウントは停止されます。表示器の値もその時点で固定されます。④リセット状態ではカウントしません。リアルタイムにカウントを表示させたい場合は、④リセット状態から③表示を操作してください。ある時点でカウントを停止（固定）したい場合は、②消灯を押す事で固定できます。一度、固定した値は④リセットを操作しない限りできません。

●【操作卓】表示中に数値の変更はできますか？

できます。自由に操作してください。自動的な桁上、桁下げ機能はありませんのでご注意ください。

●【操作卓】一括操作ボタン①-②-③-④に操作順はありますか？

ありません。各ボタンの機能を理解して自由に操作してください。

●【操作卓】リセットは全て同時ですか？個別に発表・リセットしたい。

個別操作モードでできます。

●【表示】リセット時に子機のゼロ表示を消すことはできますか？

できます。子機の設定スイッチ〔Ｂ〕をＯＮにしてください。

●【表示】加算表示のタイミングを合わすことはできませんか？

できません。数値が大きいと時間が掛かります。

２６.よくある質問と答え②

●【子機】子機を増設することはできますか

できません。最大５台までです。

●【子機】子機の裏面にある７セグの目的は？

クイズ等の得点に用いる場合、回答者が得点を確認するために利用します。

●【子機】子機の裏面にある７セグの２つのドットは何ですか？

左側のドットは、表面の７セグＬＥＤが点灯中に点灯します。

右側のドットは、１０キーボタン利用時のボタン受付中に点灯します。

●【子機】子機に上位ゼロを表示させたい。　例）01

子機単体による任意値表示オードでは利用可能

その他の機能ではできません。　セロサプレス（上位桁のゼロは非表示）

●【子機】同じアドレスを設定すると・・・

正しく動作しません。

●【子機】アドレスを６から０に設定すると・・・

レンタル品では利用できません。　１から５に設定してご利用ください。

●【子機】子機の明るさを落とすことはできますか？

できません。フィルターなどを利用して減光してください。

●【設備】通信ケーブルの延長はできますか

事前にご相談ください。

●【機能】子機単体で任意の数値を出す事はできますか？

子機に電源を接続して、設定スイッチ　〔Ａ〕をＯＮ、設定〔①〕〔②〕で数値を選択します。

●【機能】効果音をリンクする事はできますか？

できません。

●【合計得点】各得点の合計を表示させることはできますか？

オプション品の７セグ表示機の追加で大きく表示することができます。

操作卓の液晶表示には、合計得点を表示しております。

２７.よくある質問と答え③

●【設備】オプション品の７セグ表示を複数設置する事はできますか？
できます。

●【設備】１０キーボタンのほかに何ができますか？
得点表示やアップダウンボタンを使った採点装置として利用する事ができます。

●【設備】機能の変更や追加は可能ですか？
お問合せください。

●【サービス】設営から運営までお願いする事はできますか？
できます。お問合せください。

●【設備】販売は行っていますか？
できます。お問合せください。

２８.【オプション】合計得点を表示させる

７セグ４ケタ　ＬＥＤ表示機（表面）







●白色ＬＥＤ仕様　横：1060mm　縦：370mm　奥行：150mm　重量：21 kg

●赤色ＬＥＤ仕様　横：860mm　縦：340mm　奥行：130mm　重量：10 kg

２９.【オプション】７セグ４ケタ　ＬＥＤ表示機（裏面）







●白色ＬＥＤ仕様　屋内向き　防適仕様ではありません。

●赤色ＬＥＤ仕様　屋外・屋内向き　防適仕様ではありません。

３０.【オプション】７セグ表示機の動作確認



【表示機のウラ面】



点滅

【表示機の接続パネル】

① 設定スイッチ［０］利用モードを確認する。
② 電源スイッチ（オレンジ色スイッチ）を投入する。
③ 液晶画面左側のＬＥＤ点灯はすべて消灯
※液晶表示が乱れることがありますが測定値に影響はありません。気になる場合は電源を一度入れ直してください。

※表示機テストモード　（表示に問題が無ければ使用しなくてもよい）

設定スイッチを［１］へ切り替える　　赤色ＬＥＤ点灯

表示テストモードは［０．０．０．０.］→［１１１１］→［２．２．２．２］→［３３３３］→と数字を変化させる

液晶表示は［０．０．０．０.］は［　　０．０］と表示

液晶表示は表のＬＥＤ表示とは同期していない［　　０．０］→［２２２２］→［４４４４］等の表示で問題はありません。

表示に問題なければ設定スッチを［０］の位置へ！　※現在［１］以外の数字は全て利用モードになっています。

３１．【オプション】７セグ表示機の設置方法①





①右手部のネジをゆるめる



②脚を持って広げる



③適度に広げる



④ネジをしっかり締める

３２.【オプション】７セグ表示機の設置方法②



⑤ネジを確認



⑥高さ調節：黄ラインは注意　赤は危険



⑦アタブタのネジをゆるめる



⑧表示機を抱えて（無理せず二人で）



⑨スタンドへ載せる



⑩各部のネジを締める



⑪ブロック等を利用して転倒防止に務める



⑫ゴム紐等で固定物へとめ転倒防止に務める

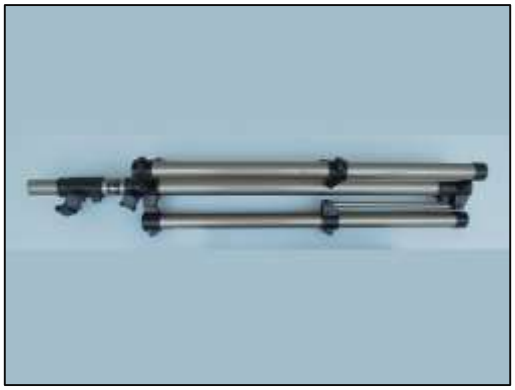
３３.【オプション】７セグ表示機　スタンド設置の注意点

※危険回避！

表示機は金属製の重量物（約２２kg）です。万が一でも転倒した場合、人に当たれば大きな事故につながることが予想されます。周囲の状況を考慮しスタンドの高さや設置方法を決めてください。また、風の影響を受けるような場所ではオモリやゴム紐等を利用し転倒しないような対策を施してください。画像にあるような長机の上に配置することも一つの方法です。表示機へ通信ケーブルと電源コードの２本接続します。コードに足を引っ掛け表示機を転倒させることが無いように配線経路や配線養生を工夫してください。



＜長机に載せた表示機＞





＜広げた脚が狭いため不安定な状態＞



＜適当の広さ＞

３４.【全アイテム】



ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

四国電飾工芸

電話：(088)843-1601　携帯：090-3041-6033